



EXPO 2025 大阪・関西万博に出展します

会社名 株式会社ファーマフーズ
代表者名 代表取締役社長 金 武祚
上場取引所 東証プライム市場 (2929)
本社所在地 京都市西京区御陵大原 1 番地 4 9
電話番号 075-394-8600

News Release

2024 年 10 月 24 日

第 27 期定時株主総会 ご質問事項への回答

2024 年 10 月 24 日（木曜日）の第 27 期株主総会の開催にあたり、事前にいただいたご質問の中から、多く寄せられたご質問事及び株主総会当日に頂いたご質問事項について、以下の通りご回答をお知らせいたします。

なお、記載内容につきましては、ご理解いただきやすいよう加筆・修正をしております。

Q1. 会社四季報に「卵殻膜用いて開発した繊維をアパレル企業に今期供給開始」とあるが、供給先について教えてください。

A1. Ovoveilに魅力を感じていただき、国内のアパレルや小売に内定をいただいております。

現在、Ovoveilを用いた衣類や雑貨などの製品づくりを各企業と進めており、今期上市の予定です。具体的企業名は現時点でお伝えすることはできませんが、製品化をぜひご期待ください。

Q2. 創薬事業における悪性腫瘍プロジェクトの進捗について教えてください。

A2. これまで得られたラポレベルのデータからは、将来的な臨床応用を考えた場合、劇的な効果は期待できないと考えられたため、優先度を下げる判断をいたしました。

一方、ガン領域においては、東北大学の加藤教授との共同研究を進めており、新たな抗体技術の確立を目指して、取り組んでおります。

Q3. 300億円を超える広告宣伝費について、特定のウェブ広告代理店の役割、広告制作体制について説明してください。

A3. 特定のWEB広告代理店を優先しておらず、4社で運営しております。費用対効果の高い会社を選択・活用しております。広告制作の体制は、①担当チームによる広告制作②弁護士を含めた第三者の薬事チェック③当社のバリュー：“誠実”の観点から担当執行役員又は部長が判断し、最終承認しております。

Q4. 株価を意識した経営について、現状の株価水準の認識及び市場との対話充実に向けた方針を教えてください。

A4. 今後の事業展開及び新たな取り組みは、将来の成長につながる大きなポテンシャルを秘めております。これらの将来性は、現状の株価に十分反映されていないと考えております。

私たちの将来の成長性が適切に皆様に伝わるように、リリースや説明会を通じて情報発信を充実化させ、株主の皆様との対話を深めてまいります。

Q5. 株主還元方針について、総還元性向20%を引き上げる可能性について教えてください。

A5. 売上高1,000億円達成に向けて、成長への投資と安定した株主還元を両立してまいりたいと考えております。

総還元性向20%を最低限維持しながら、この比率にこだわらず、将来的に利益を増やすことにより、配当金額を増やして皆様のご期待に応えたいと考えております。

Q6. 売上高 1,000 億円を目指す中での現実的な営業利益率のイメージを教えてください。

A6. 将来への投資が先行する中でも、営業利益率 3~5%は維持できるように既存事業でしっかりと利益を確保してまいります。

売上高 1,000 億円を達成した後は、より収益性を高め、中長期的には営業利益率 10%を目指したいと考えております。

Q7. 取締役の報酬額を年額 3 億円以内に改定することは、今後の業績や株主還元への自信の表れでしょうか。

A7. まさにその通りです。今後のさらなる業績拡大を図っていくために、取締役会の強化につながる人材の獲得を見据え、報酬枠の拡大をお願いするものであります。

Q8. 従業員の平均勤続年数 4.3 年をどう評価しているか教えてください。

A8. 会社が急拡大しておりますので、新たに入社する社員が増えたため、と認識しております。人材の流動化が進んでおりますが、従業員が長く活躍できるように、エンゲージメントの向上に取り組むことが必要と考えております。なお、連結ベースでの平均勤続年数は、7 年となっております。この会社に来てよかったと思われるよう、取り組んでまいります。

Q9. 株主と経営陣の相互理解の促進のため、株主総会の対面開催をしないのでしょうか。

A9. 対面で開催することもメリットも感じておりますが、全国または海外の方でもご参加いただけるよう、オンラインにて開催しております。オンライン開催の場合においても、事業説明会等の場を充実させ、株主の皆様との対話を増やしてまいります。

Q10. 中長期とはどれくらいの期間を想定しているのか。今の株価の認識を教えてください。

A10. 中長期は 5 年間程度を想定しています。株価は正しく評価されていないと感じております。それを改善すべく最大限の努力をしております。

Q11. 株主が短期のキャピタルゲインを狙ってはだめなのでしょうか。

A11. 売買が活性化することは望ましいため、決して短期での売買を否定するものではありません。長期でも保有いただけるよう努力してまいります。

Q12. ニューモとニュー Z のすみわけ、顧客の重複はないのでしょうか。

A12. ニューモの効果実感が少ないと感じられるお客様に対し、ニュー Z をおすすめしております。ニューモは育毛、ニュー Z は発毛とご理解いただいております。

Q13. 5 年 300 億円の投資による成果は、いつどれくらいを見込んでいるのでしょうか。

A13. 決算短信に記載の「バイオものづくり事業」は、5 年間の 51 億円の事業投資の後 5 年での回収を目指し、120 億円程度を見込む工場投資は、10 年前後での回収を目指すなど、各事業リスクに応じた収益獲得を見込んでおります。